

第 2 回: Windows の基本操作 (1)

担当: 千葉庄寿 (schiba@reitaku-u.ac.jp)

http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit_r/

1. パソコンの基本知識

- パソコンの基本操作 (起動から終了まで)
- パソコンの構成要素 (ハードウェア, ソフトウェア [OS, アプリケーション])
- キーボード: キーの位置の確認
- マウスの持ち方と, 基本操作 (クリック, ダブルクリック, ドラッグ)
- Windows の画面構成
 - 「スタート」メニュー, タスクバー, デスクトップアイコン
 - 「マイコンピュータ」アイコン, 「ごみ箱」アイコン
 - IME ツールバー (日本語入力用)
- アプリケーションソフトウェアの起動と終了
- ウィンドウの基本操作
- データの保存先 (ネットワークドライブ)

※ 大学のコンピュータで, 個人のデータを保存できる場所は,

- 'file_server' の [user-id] (X:): ネットワーク上の他のコンピュータにある個人データの保存用フォルダ ([user-id] はあなたのユーザ ID) だけです。ローカルディスク (C:) やデスクトップには保存できないので, 注意すること (一度ログオフしたり, シャットダウンするとデータは消去されてしまいます)。
- USB メモリー (次回実習します) を接続すると新たに「リムーバブルディスク」として認識されます。

2. 文字入力の基本

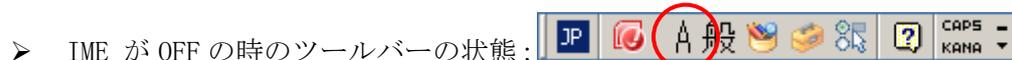
- 「メモ帳」
 - 起動 ([スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[メモ帳])と終了
 - ファイルの保存, ファイルの上書き保存
- 英数字 (= 「半角文字」) の入力
 - アルファベット小文字
 - アルファベット大文字
 - [Shift] キーを押しながら入力
 - [Shift] + [CapsLock] を押すと, 大文字の連続入力が可能
 - 記号 (キーボード上に印字されているものを確認しよう)

記号	読み方
~	ティルダ/ティルデ
,	カンマ
.	ピリオド/ドット

:	コロン
;	セミコロン
/	スラッシュ
@	アットマーク
_	アンダーバー
*	アスタリスク

□ かな漢字変換システム(IME)について

- IME の ON/OFF : [Alt] キー + [半角/全角] キー ([半角/全角]だけでもOK)
- IME の ON/OFF によって「直接入力モード」と「ひらがな入力モード」が切り替わる。



□ ひらがなの入力

- IME を ON にする
- ローマ字で読みを入力する: れいたく → reitaku
- 目的の文字が正しく出てきたら [Enter] キーを押す。読みが決定(確定)される
- 日本語で使う記号の入力 (直接入力できるもの)

記号	キー
ー (長音記号)	- (マイナス)
・ (中黒)	/ (スラッシュ)
「 (かぎ括弧)	【 (角括弧)
」 (かぎ括弧)	】 (角括弧)
。(読点)	. (ピリオド)
、 (句点)	, (カンマ)

- 入力に、コツがある文字もある: 小さな「あいうえおやゆよ»: あ…xa ; い…xi (または la, li でもOK)

□ カタカナの入力

※ひらがな・カタカナの切替えをおこなう方法(ローマ字入力の場合)

方法 1: かな漢字変換システム(IME)のツールバーをクリックして入力モードを切り替える (右図)。

方法 2: ファンクションキーを使って、入力した文字を好きな文字種に変換する。

⇒ 読みを入力した後、ファンクションキーを押して、いろいろな変換ができる。

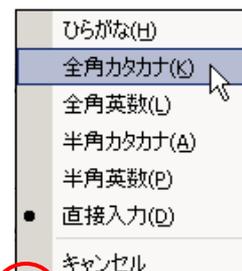
F6・・・ひらがなに変換

F7・・・カタカナに変換

F8・・・半角カタカナに変換 (電子メールでは使えない。普段から使わないようにしましょう!)

F9・・・全角アルファベットに変換

F10・・・半角アルファベットに変換 (こ



のテクニックはなるべく使わず、半角の入力は IME をオフにしてから行おう！)

□ 漢字の入力

- 読みをローマ字で入力する
- 変換キー([スペース]キー)で変換：目的の漢字がでてくるまで何回か押す
- [Enter]キーを押して「確定」する

例) reitakudaigaku[スペース]・・・麗澤大学

※文節の切りなおし（文節を切り間違えることは、IME にはよくあります！）

- [Shift] + [→]・・・文節を長く
- [Shift] + [←]・・・文節を短く

□ 数字、記号の入力

方法 1： キーボードにお目当ての記号があれば、そのキーを押す（例：\$）

方法 2： 記号の読みを入力して変換してみる（例：わる→÷）

●○○○	「まる」と読みを入力
→↓↑←	「やじるし」と読みを入力
『』【】	「かっこ」と読みを入力
★☆	「ほし」と読みを入力
※	「こめ」または「ほし」と読みを入力
～	「から」と読みを入力

方法 3： きごう と読みを入力して変換する。

□ スペースの入力

- 文字の入力が「未確定」のとき(文字の下に点線が表示されているときに)、いくら [スペース] キーを押しても、空白は入力できない。[Enter]キーを押して文字を確定してから、[スペース]キーを押すこと。
- スペースにも、半角と全角の 2 種類がある。IME のオン/オフで切り替わる。

□ より詳しい IME の利用法

- 「ローマ字・かな対応表」を参照
- IME ツールバーのヘルプから「目次とキーワード」を選んで確認

次週の予定

- フォルダとファイルの取り扱い方法を確認・実習する。
- TypeQuick の練習を続ける。
- テキスト入力の応用練習をおこなう。

次週準備するもの

- USB メモリー (2GB 以上のものを購入することをすすめる) 1 本：**任意。まだ使ったことのない人は、この機会にぜひ用意してみてください。**